



● 発行所
 北海道被爆者協会
 札幌市白石区平和通
 17丁目北6-7
 北海道版 北海道ノーモア・ヒバクシャ会館内
 TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会 ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org) メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

被爆者協会の来春解散を決定しました ー5月19日、第43回総会が開かれましたー



できない。でも被爆者協会の現状もわかるので、反対はしません」というものでした。

1960(昭和35)年に北海道被爆者協会(当時は北海道被団協)が誕生し、間もなく64年になります。「再び被爆者を作るな」を合言葉に、被爆者の援護と核兵器の廃絶を求めて皆さんとともに活動してきました。

解散後はヒバクシャ連絡センターが対応致します

解散ですべてが終わるわけではありません。解散後は「被爆者連絡センター」(仮称、被爆者二世・支援者の協力で構成したいと思います)が窓口となり、「再び被爆者を作らない」との考えのもと、被爆者相談、語り部派遣等の調整、原爆死没者追悼会の実施、原爆展、ノーモア・ヒバクシャ会館見学者への説明(会館はその後も一定期間オーヤ会館が落成したの予定)等を行います。また、1991年12月23

すでに機関紙『被団協』北海道版5月号でお知らせしましたように、被爆者協会は去る5月19日(日)に第43回総会を開催し、第5号議案「被爆者協会の解散と関係する措置について」が保留1を除いて残り13名の賛成を得て正式に決定されました(委任状を入れて賛成37、保留1となります)。被爆80年を前に苦渋の決断です。保留意見は「賛成は

北海道・札幌市・日本被団協等との連絡も続けるつもりです。

ノーモア・ヒバクシャ会館の学校法人北星学園への譲渡が決まりました

来春被爆者協会が解散するのに合わせて、ノーモア・ヒバクシャ会館は学校法人北星学園の所に移行します。

2022年10月に土地と建物(会館)・展示品・資料の一括無償譲渡を申し入れ、その後何度かのやり取りを経て、北星学園理事会・評議員会は去る5月28日、譲渡受け入れを決定致しました。



日、3万名をこえる人々から500万円の寄付を受けて作られました。いわば全国で初めての市民立の原爆資料展示館です。爾来32年余、ヒバクシャ会館は展示品を通して原爆のすさまじさを伝えるとともに、北海道の被爆者運動の拠点として、「再び被爆者を作らないで」、そのために核兵器の廃絶をという平和のメッセージを伝え続けてきました。

会館建設にご協力いただいた皆様には本来直接お会いして経過をご説明すべきですが、私たちの動ける範囲も限られており現実にはなかなか困難です。何卒事情ご賢察のほどよろしくお願い致します。